

平成29年3月22日

## 「復興祈念ウィーク」について

県では、熊本地震から1年となる4月中旬の約2週間を「復興祈念ウィーク〔※〕」と位置付けており、この期間中に開催される県や市町村、民間企業、団体等の行事をとりまとめ、県内外に広く発信しているところです。

このたび、「復興祈念ウィーク」における主な取組みについてとりまとめましたので、お知らせします。

### 【 主な取組み 】

4月14日（金）	6：00～	職員参集訓練
	8：30～	災害対策本部会議（訓練）
	9：00～	復旧・復興本部会議
	10：00～	犠牲者追悼式
	19：30～	復活コンサート
4月15日（土）	11：00～	熊本地震・一周年報告会 日本学術会議シンポジウム
4月16日（日）	13：00～	復興祈念シンポジウム （くまもと復旧・復興有識者会議）
4月19日（水）	14：00～	熊本県防災会議

〔※〕復興祈念ウィーク・・・4月7日（金）～4月23日（日）  
〔別添チラシ参照〕

— お問い合わせ先 — 熊本県庁代表 096-383-1111

- 各種シンポジウム、ウィーク全般に関する事 知事公室付 和田（3805）
- 犠牲者追悼式に関する事 秘書課 犬塚・中村（3037）
- 職員参集訓練、防災会議に関する事 危機管理防災課 松山・大田黒（3462）
- 広報、当日取材に関する事 広報課 伊藤・田方（3133）

**4月14日（金）6：00～ 『職員参集訓練』**

- 目的：災害発生時における職員の参集体制の再確認、並びに全庁挙げた危機管理体制の更なる強化及び実践性を図る目的で実施。
- 日時：平成29年4月14日（金）午前6：00～9：00
- 参加者：本庁及び広域本部・地域振興局の原則全ての職員。（約3,800人）  
 ※ 警察本部・警察署職員、臨時・非常勤職員、退職者、休暇中の職員、その他所属長が訓練参加困難と判断した職員を除く。
- 訓練想定：全ての市町村で震度6弱以上を記録
- 内容：

訓練の種類	内容
情報伝達訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 災害発生・職場への参集について、職員に連絡               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 職員への参集メール送付 （危機管理防災課 ⇒ 全職員）</li> <li>② 職員への電話等による連絡 （各所属 ⇒ 所属の職員）</li> </ul> </li> </ul>
職員参集訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各所属への参集 原則として徒歩、自転車又はバイクにより登庁。 公共交通機関は利用しない。</li> <li>● 職員の参集状況の確認を実施（各所属） 発災確知後1時間、2時間の参集状況を集計、報告</li> </ul>
職員安否確認訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 安否確認実施 未参集者（発災確知後1時間）の安否確認 （各所属 ⇒ 未参集者）</li> </ul>
被害情報収集・報告訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各所属における災害時の必要手順の実施、確認。</li> <li>● 把握した被害の状況（人的被害、交通状況、ライフラインの状況等：想定）を報告 （本庁各部局筆頭課、広域本部・地域振興局担当課 ⇒ 危機管理防災課）</li> </ul>

4月14日（金）8：30～ 『災害対策本部会議（訓練）』（場所：新館10階）

- 参加者：災害対策本部員（知事、副知事、各部局長）
- 内 容：同日開催の職員参集訓練等の一環として実施。職員参集訓練等で想定した規模の災害発生した場合を想定し、災害対策本部を開催する訓練を実施。
  - 災害対策本部員の招集
  - 被害報告  
災害対策本部員から、（想定）被害（ライフライン、所管公共施設等の被害状況等）を報告  
※ 各広域本部・地域振興局には、熊本県映像伝送システムを使用し、会議の様子を配信予定。

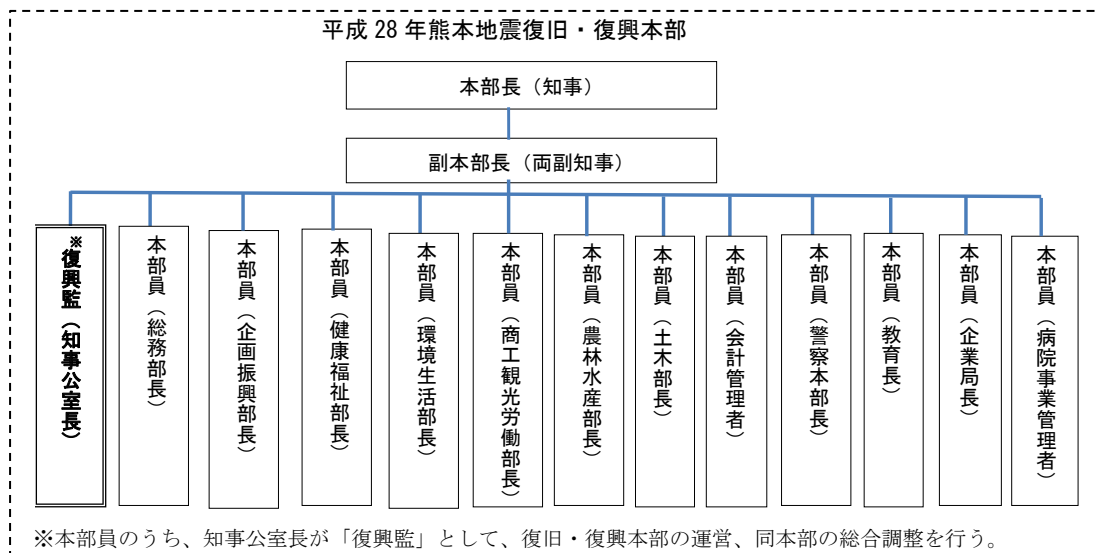


4月14日（金）9：00～ 『復旧・復興本部会議』（場所：新館10階）

- 参加者：復旧・復興本部員（知事、副知事、各部局長）
- 次 第：①黙祷  
②知事挨拶  
③「復旧・復興プラン」の進捗状況を報告（知事公室）  
④意見交換

【参考】これまでの開催状況

- 第1回（H28.6.20）・・・本部会議の設置
- 第2回（H28.7.29）・・・「復旧・復興プラン（案）」の協議（その後、H28.8.3 策定）
- 第3回（H28.10.3）・・・「復旧・復興プラン」改訂
- 第4回（H28.12.28）・・・「復旧・復興プラン」改訂（H28.12.27）の報告



**4月14日（金）10：00～ 『犠牲者追悼式』県主催（場所：地下大会議室）**

➤参加者：御遺族、各省庁、国会議員、県議会議員、市町村長、市町村議長、関係機関など400人程度を想定

➤次 第：①黙祷

②主催者式辞（蒲島知事）

③来賓のお言葉（調整中）

④ご遺族代表のお言葉（調整中）

⑤献花

※式典終了後は会場を一般開放し、追悼・献花の場として提供。

➤その他：追悼式終了後に、会場でぶら下がり取材を予定。

**4月14日（金）19：30～ 『復活コンサート』（場所：県立劇場ホール）**

➤主催者：熊本地震復興祈念演奏会実行委員会  
くまもと音楽復興支援100人委員会  
NPO法人ほか有志団体

➤規 模：300人（※チケット完売）

➤次 第：19：30～ プレイメント・・・知事挨拶（その後も出席）

20：00～ 演奏（曲目：マーラー／交響曲第2番ハ短調「復活」）

21：26 黙祷  
（演奏終了後）

**【関連情報】**

上記演奏会には、本県の誘致企業である「サントリーグループ」とのつながりから、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団から4人の弦楽奏者が参加予定。県庁での献花やミニコンサートの申し出があっており、以下のスケジュールで調整中。

4/14（金）追悼式終了後

11：30頃 献花（地下大会議室）

12：10～12：40（30分間）

県庁ロビーコンサート（新館1Fロビー）

（知事も出席予定）

**4月15日（土）『熊本地震・一周年報告会』日本学術会議公開シンポジウム**  
**11:00～ポスターセッション、13:00～シンポジウム（場所：県庁地下大会議室）**

➢主催者： 内閣府 日本学術会議、熊本県、  
 （3者） 防災学術連携体（防災に関わる55学会のネットワーク）

➢規 模：450人程度

➢次 第：①ポスターセッション16学会  
 （11:00～13:00）

②知事挨拶（13:00～）

③学会発表

日本活断層学会、日本地震学会、  
 日本建築学会、土木学会、  
 日本森林学会、農業農村工学会、  
 日本災害情報学会、砂防学会、  
 廃棄物資源循環学会など15学会

④自治体発表（熊本県、熊本市）  
 （18:20終了予定）

日本学術会議公開シンポジウム／第3回 防災学術連携シンポジウム  
**熊本地震 追悼・復興祈念行事**  
**熊本地震・1周年報告会**  
 ●あすの熊本のために日本学術会議と30学会が集います●

日 時：平成29年4月15日（土）11：00～18：20  
 会 場：熊本県庁本館 地下大会議室（熊本市中心区永前寺6-18-1）  
 主 催：内閣府 日本学術会議 防災減災・災害復興に関する学術連携委員会  
 熊本県  
 防災学術連携体（防災に関わる55学会のネットワーク）

がんばるけん！  
 くまもとけん！

開催趣旨  
 平成28年4月14日、16日に発生した熊本地震から1年目にあたる平成29年4月15日に、地震・災害・救援・復興等に関わる各学会の調査状況を地元の方々へ伝えると共に、熊本県・熊本市からも復旧・復興に関する情報を発信し、関係機関で更なる情報共有をはかり、今後の防災減災・災害復興に役立てるために、一周年報告会を開催する。

定 員：450名 参加費：無 料  
 申込方法：下記防災学術連携体ホームページからお申込下さい  
 ※当日の発表資料・ポスターセッション詳細資料はホームページに掲載  
<http://janet-dr.com/>

ポスターセッション：地下大会議室の内外 同日11:00～13:00、13:30～15:46（休館）、18:00～18:20  
 こども環境学会 熊本地震におけるこどもの心理的・社会的な状況についてー益城町被災地避難・仮設館におけるおそけい環境改善プロジェクトー（報告会）  
 新学舎システム学会 熊本地震被災地における避難場所の分布  
 日本応用物理学会 熊本地震による2016年熊本地震に対する調査報告  
 日本気象学会 熊本地震における地震大規模な震害の報告  
 日本建築学会協議会（日本建築学会等） 熊本地震における罹災者の実態・全世帯から罹災率をいかに低く抑えるか  
 日本消防行政学会 地域社会内部の避難および応急処置による被害への被害  
 日本災害復興学会 行政の危機管理・防災・復興活動や被災した被災地への復興  
 日本建築学会 熊本地震の復興の基本方針－着目日本建築と中核産業の復興のありかた－（報告）  
 日本地震学会 地震被害から見た熊本地震の被害  
 日本地質学会 熊本地震による阿蘇山域の上砂災害の特徴について  
 日本地すべり学会 熊本地震被災地での砂防砂害と調査時の留意点について  
 日本地質学会 熊本地震による阿蘇山域の砂防砂害  
 日本地質学会 2016年熊本地震を引起こした地質学的特徴  
 日本土木学会 熊本地震被災地から学んだ「震」の復旧と再生

問合せ先：防災学術連携体 菅原健介（土木学会） sugawara@jpc.or.jp 03-3255-3443 / 小野田 弘典 info@janet-dr.com



【写真】熊本地震・緊急報告会（平成28年5月2日）

4月16日(日) 13:00～ 『復興祈念シンポジウム』(場所:テルサ)

➤参加者:一般県民、関係団体

➤規模:500人

➤次第:開会 13:00～15:00

① 県からの報告事項(15分)

- ・「復旧・復興プラン」の進捗状況
- ・災害対応の検証結果

② 公開による「くまもと復旧・復興有識者会議」(90分)

- ・有識者会議メンバー(7名)
- ・蒲島知事(オブザーバー)

③ 合奏「三百六十五歩のマーチ」  
(熊本工業高校吹奏楽部)



～休憩～

誘導・案内

同日開催の「関連企画」

◆「住民主体の復興まちづくりのあり方」(15:30～17:00)

会場:県庁新館201会議室

主催:くまもと災害ボランティア団体ネットワーク

◆「水の国くまもとリレーセミナー」(15:30～17:00)

会場:熊本テルサ2Fひばり

主催:県環境立県推進課

◆「警察活動パネル展示」(12:30～16:00)

会場:熊本テルサ(ホール前ロビー)

主催:県警警備第二課

熊本地震・東日本大震災報告写真展

開催日:4月10日(月)～21日(金) ※15日(土)・16日(日)も開催  
9:00～17:00

会場:県庁 新館・本館ロビー

主催:日本ユニセフ協会、熊本県ユニセフ協会、熊本県

4月19日(木) 14:00～(場所: 地下大会議室)

『熊本県防災会議、石油コンビナート等防災本部、水防協議会合同会議』

➤参加者：熊本県防災会議等委員

(国、県、市長会、町村会、自衛隊、消防、ライフライン関係企業、マスコミ、医師会、自主防災組織、学識経験者等)、市町村職員

➤規 模：200人程度

➤次 第：①平成28年熊本地震の対応に係る検証について

②県地域防災計画改正について

③石油コンビナート計画改正について

④水防計画改正について

⑤その他報告事項等

➤内 容：県はじめ関係機関等が一丸となった防災体制の推進・強化を図る目的で開催。

特に、今回の「熊本県防災会議」においては、平成28年熊本地震の検証を踏まえ、「県地域防災計画」の大幅な改正を行うことから、復興祈念ウィークに合わせて列年よりも早く開催し、県挙げての防災体制の整備・強化を推進する。